

令和8年度全国学力・学習状況調査の結果等について

1-1 令和8年度調査の概要

全国学力・学習状況調査は、義務教育の機会均等とその維持向上の観点から、

- ・全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る
- ・学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる
- ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する

ことを目的として実施している調査です。

令和8年度調査は、小学校6年生、中学校3年生を対象として、教科に関する調査（国語、算数・数学、英語）と質問調査を実施しました。

そのうち、小学校児童質問調査及び中学校英語・生徒質問調査は、文部科学省 CBT システム（MEXCBT）によるオンライン方式（CBT：Computer Based Testing）で実施しました。

1-2 令和8年度調査の結果公表

令和7年度から、児童生徒の学びへの還元を最優先に学校への結果返却の時期を早期化するとともに、国において多面的な分析の結果返却を行うため、3段階に分けて結果公表を行っています。

令和8年度は、7月16日、調査結果を学校に提供するとともに、正答率などの全国平均や IRT スコアなどを公表しました。また、8月3日には、全国データに基づく分析結果を公表しました。今後、9月30日に、都道府県・指定都市別データに基づく分析結果を公表予定です。

1-3 教科調査の結果(国語)

国語の調査結果においては、

- ・文章を引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること
- ・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすること

に課題が見られました。

例えば、**小学校国語**では、引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみるため、以下の問題を出題しました。

【花山さんの文章の続き】の空欄に入る内容を、【集めた情報】から抜き出して考えが伝わるように書く。

【花山さんの文章の続き】

4 すずしく過ごせる衣服の色は何色か

「色の効果」という本には、「青は海や水を連想させ、すずしそうに見える。」と書かれている。青や水色などひんやりとしたイメージのある色の服を着ることで、長そででもすずしく過ごすことができそうだ。

また、

【集めた情報】

本の題名	本文の一部
色の効果	青は海や水を連想させ、すずしそうに見える。白は雪の色であり、冷たい印象がある。赤があたたかく感じられるのは、太陽や火を連想させるからだ。
生活と太陽	白は熱や光を反しやすいため、熱くなりにくい。一方、黒は熱や光をきゅうしゅうし、熱くなりやすい。
夏のくらし方	白やうすい青はさわやかに見え、すずしく感じます。さらに、着ている人だけでなく、周りの人にもすずしさを感じさせます。

条件①：【集めた情報】の中から、本の題名と本文の一部の内容を選んで、抜き出して書いている。

条件②：抜き出した本の題名と本文の一部の内容はかぎカッコ（「 」）でくくっている。

条件③：抜き出した内容をもとに、すずしく過ごせる衣服の色について考えたことを書いている。
条件④：140字以内にまとめて書いている。

この問題では、以下の誤答のように、本文の一部を引用して書けたが、引用した部分と自分の考えとの関係を明確にし、区別して書くことができなかった(条件③を満たしていない)児童が見受けられました。

白は雪の色であり、冷たい印象がある。また、白色や青色の衣服は着ている人だけでなく、周りの人にもすずしさを感じさせることができる。

また、**中学校国語**では、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすることができかどうかをみるため、以下の問題を出題しました。

二つの例文を比べながら、擬態語「きっぱり」が表している具体的な様子と擬態語の効果を書く。
〈例文1〉〈擬態語を使っていない例文〉
「いいえ。たくさん練習してきたから大丈夫です。」生徒は言った。
〈例文2〉〈擬態語を使った例文〉
「いいえ。たくさん練習してきたから大丈夫です。」生徒はきっぱりと言った。
条件①：〈例文2〉の擬態語「きっぱり」がどのような様子を表しているかを具体的に書いている。
条件②：「きっぱり」について考えたことを踏まえて、擬態語の効果について、本文中の言葉を使って書いている。

この問題では、以下の誤答のように、擬態語の効果について自分の考えを述べようとしているものの、本文やそこから得た理解に基づく記述が不十分である(条

件②を満たしていない) 生徒が見受けられました。

「きっぱり」という擬態語をつかうことによって生徒がたくさん練習をしてきて、発表に自信があるように感じさせる効果がある。

以上のような調査結果を踏まえると、国語の指導においては、自分の考えを伝える際に、考えと根拠を区別して表現することを意識させることが重要と言えます。

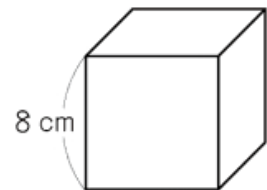
1-4 教科調査の結果(算数・数学)

算数・数学の調査結果においては、

- ・立方体の体積の求め方の理解や、基準量、比較量、割合の関係を正しく捉えること
 - ・2直線が平行になる条件の理解
- に課題が見られました。

例えば、**小学校算数**では、立方体の体積の計算による求め方について理解しているかどうかをみるため、以下の問題を出題しました。

1辺が8cmの
立方体の体積を
求める式を書く。

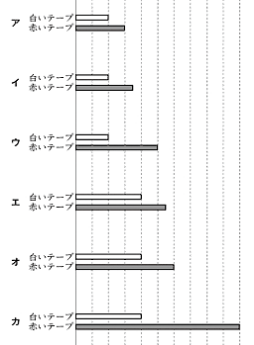


正答は、「 $8 \times 8 \times 8$ 」です。

しかし、「 8×8 」「 8×6 」「 8×3 」といった誤答のように、立方体の全ての辺が等しいことは理解しているが、誤って正方形の面積の公式を用いている児童や、立方体の特徴を体積の求め方に結び付けることができていない児童が見受けられました。

また、基準量、比較量、割合の関係が正しく表されている図を選ぶことができるかどうかをみるため、以下の問題を出題しました。

赤いテープの
長さが、白い
テープの長さ
の1.5倍にな
っている図を
二つ選ぶ。



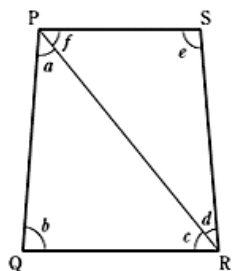
正答は、「ア・オ」です。

しかし、基準量の1.5倍に当たる量を、基準量より1.5目盛り分多い量であると誤って捉えていると考えられる児童がおり、「イ・エ」等の誤答が見受けられました。

中学校数学では、2直線が平行になるための条件を理解しているかどうかをみるため、以下の問題を出題しました。

四角形 PQRS において、 $PS \parallel QR$ を示すための根拠となる二つの角を書く。

3 下の図は、四角形 PQRS に対角線 PR をひいたものです。



上の図において、 $\angle a$ から $\angle f$ までの6つの角のうち、ある2つの角の大きさが等しければ、 $PS \parallel QR$ であるといえます。その2つの角を書きなさい。

正答は $\angle c$ と $\angle f$ を解答しているものです。

しかし、 $\angle a$ と $\angle d$ 、 $\angle b$ と $\angle e$ などの対応関係にはない二つの角を解答している誤答があり、2直線が平行になるための条件を理解し、2直線が平行であるかどうかを判断する際に着目すべき二つの角を見いだ

すことに課題がある生徒が見受けられました。

以上のような調査結果を踏まえると、図形の指導において具体的な活用場面を通じて理解を深めることや、量と割合の違いについて図で表現するなどしながら理解を深めることが重要と言えます。

1-5 教科調査の結果(中学校英語)

英語の調査結果においては、

- 社会的な話題に関して読んだことについて、自分の考えを書くことはできているが、その理由を書くこと
- 日常的な話題について、自分がしたいことを話すことはできているが、その理由を話すこと

に課題が見られました。

例えば、社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書くことができるかどうかをみるため、以下の問題を出題しました。

インターネットの使用に関して読んだことについて、考えとその理由を書く。

条件①：書き手の意見に対する自分の考えを書いている。

条件②：①の理由を書いている。

この問題では、以下の誤答のように自分の考えを書くことはできているが、その理由を書くことに課題がある(条件②を満たしていない)生徒が見受けられました。

I think your opinion is good.

I think students will find is very good.

(文構造の誤り)

また、日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある内容を話すことができるかどうかをみるため、以下の問題を出題しました。

留学生と仲良くなるために、一緒にしたいことを1つ取り上げ、その理由を話す。



条件①：留学生と一緒にしたいことを1つ取り上げて話している。

条件②：①の理由を話している。

この問題では、以下の誤答のように留学生と一緒にしたいことを話すことはできているが、その理由を話すことに課題がある（条件②を満たしていない）生徒が見受けられました。

I want to play Karuta with Ming because it can learn Japanese and it is very enjoy.
(主語、文構造の誤り)

以上のような調査結果を踏まえると、英語の指導においては、自分の考えを書いたり話したりする際に、読み手や聞き手に伝わるよう、理由を示すことを意識させることが重要と言えます。

1-6 質問調査の結果

昨年度に生徒質問調査で導入したランダム方式を、今年度は児童質問調査にも導入しました。ランダム方式で実施した項目は全体の傾向把握を主目的とする質問項目とし、児童生徒一人一人の指導に生かすための質問項目は、引き続き悉皆調査で行っています。

今年度は、挑戦心や好奇心等の非認知能力、学級内における児童生徒の心理的安全性、学びの自己調整

力、既習事項を振り返り知識を総合的に関連付ける学習活動、施設環境に関する項目などを、新たに追加しました。

1-6-1 学習指導要領の趣旨を踏まえた教育活動の取組状況

昨年度までと同様、約8割の児童生徒が「主体的・対話的で深い学び」に取り組んだと考えており、「主体的・対話的で深い学び」に取り組んだと考える児童生徒ほど、各教科の正答率・スコアが高い傾向が見られました。

1-6-2 ICT機器を活用した学習状況

約9割の児童生徒が、ICT機器を活用することで「楽しみながら学習を進めることができる」「友達と協力しながら学習を進めることができる」と考えており、ICT機器を活用する自信がある児童生徒ほど、各教科の正答率・スコアが高い傾向が見られました。また、ICT機器やインターネットについて、ルールやマナーを守って活用できる児童生徒ほど、いじめはどんな理由があってもいけないことだという意識が高いことが分かりました。

1-6-3 教科に関する意識や学習活動

昨年度までと同様、「授業の内容がよく分かる」と回答した児童生徒ほど各教科の正答率・スコアが高い傾向が見られました。また、「読書は好き」と回答した児童生徒ほど各教科の正答率・スコアが高い傾向が見られました。さらに、中学校英語において、言語活動に取り組んでいると受け止めている生徒の方がスコアが高い傾向が見られました。

1-6-4 ウェルビーイングに関する状況

「先生は、あなたのよいところを認めてくれる」と回答した児童生徒ほど、学級で人と違う意見を言っても否定されないと考えており、学校における先生や友達

とのかかわりに関する回答と「ウェルビーイング」に関する回答との間には相関が見られました。

1-6-5 学校外での過ごし方

学校の授業時間以外における児童生徒の勉強時間は、小学校・中学校ともに、令和3年度以降、平日、休日とも減少している傾向が見られました。また、SNS や動画視聴等の利用時間が長い児童生徒ほど各教科の正答率・スコアが低い傾向が見られました。

2 今後のCBT化

令和9年度からは、小中学校において、全ての調査をCBTで実施します。児童生徒が身に付けた力を、より多面的に測定することができるようになり、一人一人の学習指導の充実に向けた、全国学力・学習状況調査の活用を一層充実することが可能となります。また、CBTで実施する調査は、学校での実施が困難な児童生徒に対して、自宅、病院、教育支援センター等、学校外において後日実施することが可能です。

文部科学省は、円滑な調査の実施に向けた情報発信を行っていくとともに、今後も全国学力・学習状況調査の目的を確実に達成できるよう、都道府県・指定都市別の多面的な分析、研修動画の作成、教育委員会が各々の課題意識等に応じて簡便に分析できるツールの開発等、不断の改善を図ってまいります。

3 参考:調査結果の詳細等

- 令和8年度全国学力・学習状況調査 報告書・調査結果資料

<https://www.nier.go.jp/26chousakekkahoukoku/index.html>

- 令和8年度全国学力・学習状況調査の結果公表②及び調査結果の活用や取扱いについて（通知）（令和8年8月3日）

https://www.mext.go.jp/content/20260731-mxt_chousa02-000038631-01.pdf

- 令和8年度全国学力・学習状況調査の結果公表①及び学校への提供について（通知）（令和8年7月16日）

https://www.mext.go.jp/content/20260826-mxt_chousa02-000038631-01.pdf

- 今後の全国学力・学習状況調査の CBT での実施について（令和8年6月改定）

https://www.mext.go.jp/content/20260615-mxt_chousa02-000035736-02.pdf

- 全国学力・学習状況調査の調査結果の取扱いの改善の方向性（令和7年6月6日）

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gakuryoku-chousa/1421443_00007.htm

今後の CBT 化の工程表

		令和8年度	令和9年度	令和10年度
小学校	国語	PBT		
	算数	サンプル問題 PBT	CBT	
	理科		サンプル問題	CBT
中学校	国語	PBT		
	数学	サンプル問題 PBT	CBT	
	理科			CBT
	英語	CBT		